



ヘルスケア キャンペーン

健康寿命と健康経営

健康寿命の延伸が国の大きなテーマだと、本シリーズで繰り返し述べてきた。政府は2013年から金融政策、財政政策に続く第3の矢として「新たな成長戦略」を展開している。そこでは「日本産業再興プラン」「戦略市場創造プラン」「国際展開戦略」の3つのアクションプランが提示され、「国民の健康寿命の延伸」は「戦略市場創造プラン」のトップに位置づけられている。

2010年の平均寿命は男性79.55歳、女性86.30歳。これに対して健康寿命は男性70.42歳、女性

現役時代の健康度が健康寿命を左右する

73.62歳と、それぞれ9.13年、12.68年の差が生じているのが現状だ。

「健康寿命」という言葉の持つイメージからは、「定年後の高齢者の健康」と想起されがちである。しかし、働いている現役世代の間に健康力を高めておかなければ、定年後も健康でいる可能性は低くなる。

「定年によってストレスから解放され健康的になる」という意見もあるが、数十年にわたるダメージは決して小さくはない。ならば、現役のうちにメンタルヘルスの手立てを考える方が前向きだ。

要するに、いかに現役世代が、それもできるだけ若

いうちから健康に留意した毎日を送れるかということが、定年後できるだけ長く自立した生活を送ること、つまり健康寿命の延伸を大きく左右するはずだ。

しかも、2013年には段階的に65歳定年を義務化する法律が成立。類を見ない超高齢化社会を迎え、ますます働き手の定年は上がっていきだろう。

そういった状況を見ると、健康寿命の延伸に健康経営は大きな影響を与えるはずだ。「社員の健康づくりが自社の経営に寄与する健康経営」といった視点も大切だが、「日本全体の未来を支えるための健康経営」といった視点を加える必要があると考える。

働く人を
支える
取り組み

大運動会効果で健康意識UP

群馬トヨペット

2013年からスタートした社内運動会「GP-Fes」は、4年目を迎え、盛り上がりぶりはもちろん、波及効果も大きくなってきました。元々は、グループ全体で600人以上に及び社員のコミュニケーションを主目的に始まりましたが、本番を目指し普段からジョギングなど運動する社員が増えています。

今年10月の大会はグループ社員670人に加え、家族や女子サッカーチーム「群馬FCホワイトスター」を招待、総勢910人が参加しました。一人一人の出場機

会増大を意図し、店舗を12チームに分け、昨年の8チームより細分化。パン食い競争、玉入れといったレクリエーション的要素のあるものから、本格的なリレーや綱引きなど、誰もが楽しめる内容で、一人2種目以上参加するルールです。今年は4種目参加する人も多くいました。健康意識は徐々に高まり、マラソン大会やヒルクライムなどに出場する社員も増えています。「GP-Fes」は社員からも好評で今後も継続予定。雨天の場合も考え、来年は室内競技場での開催も検討中です。

昨年度から始めたインフルエンザ予防接種への補助事業は今年度も継続。社員の健康は店舗の業績はもちろん家族やお客さまにも影響を及ぼします。運動会の開催や予防接種補助は、社員、そして社会の健康増進に結びつくツールと考え、これからも積極的に取り組んでいきます。



チームごと12色のTシャツも好評だった「GP-Fes」

MARK X

プレミアムスポーツセダンで、
ドライビングプレジャーの最前線へ。

群馬トヨペット

カルでも、つぎの楽しみを。
TOYOPET

本社/〒371-8522 前橋市石倉町2-6-5 Tel.027-251-5111 (大代表)
http://www.g-toyopet.jp

わたしたちは、
ヘルスケアキャンペーンに参画しています。

主催 上毛新聞社 共催 群馬県、全国健康保険協会 群馬支部

後援 群馬県商工会議所連合会、群馬県商工会連合会、群馬県中小企業団体中央会、群馬県医師会

特別協賛 アクサ生命保険株式会社

協賛 公益財団法人 群馬県健康づくり財団、群馬トヨタ自動車株式会社、群馬トヨペット株式会社、株式会社榛名湖温泉ゆうすげ、医療法人社団三思会 東邦病院、群馬ヤクルト販売株式会社、NEC、株式会社メモロード (順不同)